

8割は男性の育休取得義務化に反対意向を示している。

男性の育休は、採用や入社後

の人材の定着のほか、企業のイメージアップにもつながる。助成金や育休中の社会保険料免除

など企業負担を少なくする制度があり、物流業界でも取得促進が求められる。



## 農水省

### 国産木材の安定供給体制構築へ

#### 「ウッドショック」で輸入から転換

野上浩太郎農林水産大臣は11日の記者会見で、木材が世界的に高騰する「ウッドショック」に言及し、「輸入木材の供給リスクが顕在化をしたことを踏まえ、中期的な視点からも、輸入木材からの転換も含めた国産材製品の安定供給体制の構築を推進していく」と方針を示した。

我が国の製材品等需要の約5割を占める輸入木材は、米国や中国の木材需要増大等を背景に、原産国における産地価格が高騰し、輸入量が減少。輸入木材の代替として、国産材製品への引き合いも強く、国内の加工工場も稼働率を上げて対応しているが、製品価格に加え原木も

含めて価格が上昇している。

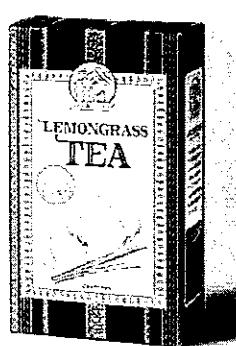
野上氏は実需に基づいた適切な発注等への協力要請を行ったことを報告し、「今後の木材需要の見通しは国内の新設住宅着工戸数が落ち込んだ昨年と同程度で、また、米国の住宅市場の動向などから、現在の状況がしばらく続くとの見方がある。一方で、コンテナ輸送の回復などにより、遠からず落ち着くのではないかとする見方もある」と述べた。



## 川崎陸送

### ブータン産レモングラスティーを発売

現地での倉庫、流通加工事業につなげる



川崎陸送(本社・東京都港区、樋口恵一社長)では、ブータン産レモングラスを輸入・加工して「レイ・ブータンレモングラスティー(写真)」として発売する。同社ではブータン産農産物の輸出による外貨獲得支援を目的に、同国で定温・冷蔵倉庫の建設・運営を計画している。コロナ禍で現地の訪問が制約される中、「いま日本でできること」としてレモングラスティーの輸入販売を始める。同国の農家とネットワークを先行して築くことで、将来的には、現地の倉庫の保

管・流通加工事業につなげる。  
提携し、同社を通じブータン産レモングラスの茶葉をバルクで輸入し、日本でパッケージングする。1箱ティーバッグ2g×8個入りで、まもなくAmazonはじめとした通販サイトで販売する。販売希望価格は648円(税込)。

バイオ・ブータンは、ブータン初のオーガニック認証をヨーロッパ機関から取得し、添加物や香料を使わない自然派製品を製造。また、持続可能な農業方法について農家に指導するなどの社会活動も行っている。

川崎陸送では、グループのエル・スリ・ソリューションを通じて同社の化粧品類のウェブ販売と食品の輸入販売を計画。なお、「レイ・ブータン(LAY BHUTAN)」のブランド名はゾンカラ語で「ブータンから(from BHUTAN)」を意味する。

工事業につなげる。  
ティンプーに所在するバイオ・ブータンと